

ほんごう

札幌市立本郷小学校
学校だより
令和8年5月29日
No. 3

食育から感謝の心を育む

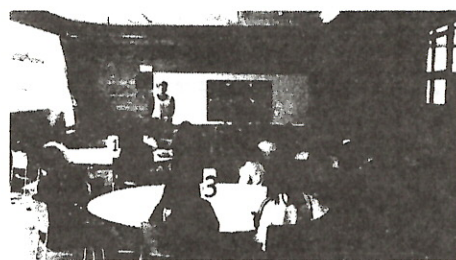
栄養教諭 西崎 恵

今月、本校では学級ごとに「ランチルーム給食」を実施いたしました。普段とは違う広い教室、そして友達の間が見える丸いテーブルを囲んで給食を食べました。「これおいしいね!」「苦手だったけれど頑張って食べられたよ。」といった楽しそうな声と笑顔がたくさん見られ、誰かと食卓を囲むことは、体に栄養を届けるだけでなく、心にも栄養を届けてくれる大切な時間だと改めて実感いたしました。

今回のランチルーム給食では、みんなが食べ終わった後の給食室の様子を動画で視聴しました。三つのシンクで大きな汚れを落とすところや、食洗機を使って一枚一枚数えながらたくさんのお皿を丁寧に洗っている調理員さんの姿を見て、「毎日、こんなに大変な思いをして洗ってくれていたんだ…。」「きれいに片付けないといけないな。」という気づきが、子どもたちの反応から伝わってきました。

その後の片付けでは、感謝の気持ちや思いやりをもって、ご飯粒ひとつ残らずきれいに食べた子や、お皿に残った小さな野菜くずを一生懸命に集めた子など、いつも以上にぴかぴかにして食器カゴへ戻そうとする様子がたくさん見られました。

食べ物が自分の口に入るまでに、どれだけの人が関わり、どれほどの愛情が注がれているかを知り、感謝の心を育むことはとても大切な食育のひとつです。ランチルームでの経験を通じて、子どもたちには作ってくれた人、片付けてくれる人への感謝を、言葉だけでなく行動でも表せる人になってほしいと思っています。学校では、これからも給食という生きた教材を通して、子どもたちの健やかな体と、豊かな心を育てまいるので、今後ともどうぞよろしくお願いたします。



↑ランチルーム給食の様子

→
ランチルームの
給食で使った
「ラウンギ」の
玄関掲示

